

平成27年度

年間指導計画

荻窪小学校・久我山小学校 第5学年

## 荻窪小学校の目指す児童像

「自分を認め、他人を認め自信をもってあきらめずに取り組む子」

## 久我山小学校の目指す児童像

「自分や友達のよさや大切さを認め、自他を高め合う子」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級經營	「自尊感情測定尺度」(1回目)で学級の児童の実態を把握する。 児童相互の関係を把握する。	自分のよさや友達のよさの発見に着目した指導を実施する。 保護者会で子どもの実態を知らせる。	個人面談で子どもについて共通理解を図る。	2学期の指導の方針を検討する。		自分のよさや友達のよさの発見に着目した指導を実施する。 保護者会で子どもの実態を知らせる。	「自尊感情測定尺度」(2回目)で学級の児童の実態を把握する。 友達のよさや考えの違いを理解し合う指導をする。	「自尊感情測定尺度」(3回目)で学級の児童の実態を把握する。		自分らしさを受け止め、最高学年への意欲を高める。 この1年間での自分や他者のよさの、伸びや高まりを実感できる指導を実施する。 3学期の指導の方針を検討する。	「自尊感情測定尺度」(4回目)で学級の児童の実態を把握する。	
各教科	『通年』音楽「表現(歌唱・器楽・音楽づくり)」表現や鑑賞等の幅広い活動を通して、自分の表現のよさや個性について気付かせる。	人のたんじょう 人の発生や成長について知り、生命を尊重する態度を育てる。	「生活に生かす」理科 自由研究等で自分の取り組んだことの成果を発揮し、自分や友達のよさを認め合う場をつくる。	国語「大造じいさんとがん」「グラフや表を用いて書こう」 友達と感想を伝え合うことで、友達の考えのよさに気付いたり自分の考えを広げたりする。友達のアドバイスで考えが広がったり深まったりするよさに気付かせる。		国語「グラフや表を用いて書こう」 友達の文章を読んで優れた点を具体的にアドバイスする。	国語「百年後のふるさとを守る」 伝記を読んで考えたことを発表し合って、自分の生き方について考える。	国工 絵画「風神雷神」「グラデーションからイメージして」 張り子「ランプシェード」 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみある作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取らせる。		国語「すいせんします」 自分の考えがよく伝わるように工夫して、スピーチの練習をさせる。		
社会	農業、漁業、工業など各单元でそこに携わる人の思いを知り、多くの人のえで生活が成り立っていることに気付かせる。			国語「明日をつくるわたしたち」 提案文を読み合い、互いによさを伝えたりアドバイスをしたりする。身近にある問題は個々の意識の変化で改善でき、生活をより充実させることができることに気付かせる。	音楽「連合音楽会に向けて」 日頃の学習活動の成果を発展させ、友達と協力しながら創造的に取り組めることに気付く。		音楽「卒業式に向けて」 自分の役割を把握し、日頃の学習活動の成果をさせる。互いの個性を生かしながら協力して音楽を作りあげるよさに気付かせる。					
道徳	親切 友達と協力して助け合う。	自由と規律 集団生活でのルールやマナーを知る。	思いやり 生命尊重 全ての生命はかけがえのないもので尊重していこうという心情を育てる。		信頼友情、個性伸長 友達のすばらしさを知り、自らも高めていこうという気持ちになる。	郷土愛・愛国心 文化・伝統を大切にし、自分の郷土、国を大切にする心情を深める。	勤労社会奉仕 社会生活を営むために自分のできることから行うという態度を育てる。	公徳心 公徳心をもって、きまりや規則を守ろうとする態度を育てる。		希望・勇気・努力 目標に向かって、希望をもち、やり直そうとする態度を養う。		
特別活動	学級活動 「係」「学級目標」等 自分たちで作った組織のきまりを自主的に守つて活動できるようにする。	運動会 表現活動を通して、支え合うことの大切や励ましてくれる人の存在に気付かせる。	さくら草まつり(荻窪) 久我山まつり(久我山) 自分たちで決めたことに最後まで粘り強く取り組むことができるようになる。	『通年』縦割り班活動 異学年交流を深め、思いやりの心を育てる。	運動会 表現活動を通して、支えられた人の存在に気付かせる。	子供園・保育園との交流 園児のためにできることを考え、実行し、できたことを認める。	地域清掃、ユニセフ募金 世界や地域などに目を向け貢献意欲を高める。	6年生を送る会 卒業式 在校生の代表として、卒業生の気持ちを考え、自分の役割や決めたことに最後まで粘り強く取り組むことができるようになる。				
指導方法	発表の工夫 考え方を書く児童と、別の児童が発表することで友達の考え方を理解しようとする態度を育てる。互いの考え方を交流し、よりよい解き方を見付ける。	学習形態の工夫 グループ学習することで、助け合ったり協力し合ったりすることで、友達が支えてくれていることや友達の力になれるということに気付くことができる。互いに励まし合い最後まで諦めずに取り組める雰囲気づくりをする。		自分の立場を明確にする工夫 「分からない」「できない」ということが言える雰囲気を作り、できることからやつてみようという気持ちと成功体験を積み重ねる。自分の立場を明確にし、主体的に取り組めるようにする。	教え合いの工夫 ミニ先生として苦手な児童にアドバイスする。理解者の存在に気付いたり、貢献意欲を高めたりできる。	問題解決学習(理科) 課題設定、予想→自分の考えが認められたり、友達の考えを肯定的に認めたりできる。	既習事項を生かして課題を解決する 学習のつながりを意識することで、「できるようになった。」「一人でできた。」という自分の努力を評価する。					
教室環境 言葉かけ	係活動 自分たちで、クラスをよりよくするための活動を考えさせる。目標や計画を掲示し、活動の場をつくる。	取り組みの発表の場 朝の会、帰りの会で児童が発表する場を設け、自分たちで考え主体的に活動できるようになる。	既習事項の掲示 単元の学習内容が見えることで安心して学習に取り組める環境をつくる。	言葉掛けの工夫 「～はだめ」×「～しよう」○プラスの言葉掛けを意識する。	褒め方の工夫 場:個別、全体 伝え方:何がいいのかを具体的に伝える。 内容:できたこと 取り組んだこと 取り組もうとしたこと	ノートの掲示 しっかりとまとめられているノートや友達のよさを見付けているノートを掲示し、よさを共有できるようにする。	いいねカード 自由研究や行事等で互いのよいところをカードで伝え合う。それに対して返事を書くことで交流を深めさせる。	教室環境整備 どこに何を置くかを全員で確認し、環境美化に努めさせる。余計なものは置かないよう心がける。	ノート指導 できているところに丸を付け、安心して発表できるようにする。授業の始めに全体で発表し共有する。			

荻窪小学校での取り組み

久我山小学校での取り組み

荻窪小学校・久我山小学校共通の取り組み